



DVMs どうぶつ医療センター横浜
動物看護師 三村 志保 さん

profile プロフィール

2000年 青山ケネルカレッジ卒業
 2000年～2006年 都内動物病院勤務
 2006年～2008年 出産後 都内動物専門学校勤務
 2008年 DVMs どうぶつ医療センター横浜 救急診療科勤務
 第2子出産後 二次診療センター勤務 看護師長就任

Q. 今までの経歴と現在のお仕事を教えてください。

専門学校卒業後に都内の動物病院でトリマーとして働いていましたが、動物看護師の仕事をしたと思い、退職しました。その後、2つの動物病院に動物看護師として勤めました。結婚を経て、出産や育児をしながら臨床に復帰することは子供も小さく難しいと思い、動物看護学校の講師を2年程していましたが、やはり実際に動物に触れ合う仕事がしたいと思い、今のDVMs どうぶつ医療センター横浜に勤めることになりました。現在の職場に勤めて10年が経ちます。

Q. 仕事のやりがいは？

私が専門学校を卒業した時期は動物看護師だけとして勤務することよりもトリマー兼動物看護師のような働き方が主流でした。当時の私は今ほどモチベーションが高なくて、仕事のやりがいなどあまり考えることもなく業務をこなしていたのですが、今の病院に勤めるようになってからは、モチベーションが高い獣医師や看護師が周りに多く、お互いに刺激しあいながら働いています。

今ではどうしたら後輩の動物看護師達がモチベーションを保ちながら仕事ができるかを、常に考えながら指導を行うこと、そして後輩たちの目標となれるように自分自身も意識を高く持ち仕事をしています。スタッフ同士も仲がよく、頼られるとそれがやりがいにも繋がりますから、ここまで動物看護師を続けられたのかもしれないですね。

Q. 子育てとの両立はどうしていますか？

実家に暮らしているので助かっている部分もあります。今の動物病院に勤めた当初は夜間病院だったので、夜勤をしていました。二人目の子供が生まれたことがきっかけで、保育園のお迎えもあるため、昼の勤務にしてもらっています。土日休みをいただいているので、子育てをしながら働きやすく、10年と長く勤められています。

今では、下の子のサッカーのお当番があり、屋外活動しているので、夏はどこにも行っていないのに、職場で一番日焼けしています(笑)。やはり、周りの協力があってこそ、仕事と子育ての両立が可能だったと感じています。自分一人だったら難しかったと思います。

Q. 他の動物病院の動物看護師との交流について

1年程前に大阪の二次診療動物病院に見学に行く機会があり、その病院で勤務している動物看護師さんと話す機会がありました。とてもモチベーションが高く、皆さん自分の仕事にプライドを持ち、そしてこの動物看護師業界を変えていこうという姿勢にとっても感銘を受けました。

その時の大阪の動物看護師さんとはその後も、新人教育や業務のことで意見交換を行っており、また、その繋がりから関東の動物看護師さん達とも交流の機会をもつことができました。色々な動物看護師さんと話しているうちに、自分にも何か出来ることはないか、何か発信したい、貢献したい！と考えるようになりました。

その中でも、子育てを頑張りながら働いている動物看護師の知り合いも増え、「結婚しても、子育てしながらでも、ずっと動物看護師を続けるためにはどういった世界が必要なのか」というテーマでWeb上で話をしたりしています。そういった、仲間との前向きな会話はとても楽しいですし、士気が大変高まります。本当に仲間に感謝しています。



Q. 動物看護師さんについて望むこと

小さいころからの夢で、動物業界に飛び込んだものの、色々な理由で退職し、勉強した事があまり活用できないような他の業種にいつてしまうのはやはりもったいないと思います。特に女性は出産・育児で動物看護師という仕事を諦めてしまう事が多い印象ですが、最近では、職場によって時短など多様な働き方も増えてきていますし、自分も子育てをしながら仕事をしてきたので、モデルケースとなり、まずは自身の職場環境を整えながら、業界全体を変えていけるように、看護師仲間と切磋琢磨しています。

お子さんのいらっしゃる方の場合、お子さんの体調等で勤務に影響が出ることは当たり前と考え、そういう時のために組織の体制を整えておくことが大事です。これから結婚をしたり、子育てをする人たちもずっと辞めないで続けられる環境を整える事が大切です。育児休暇から復帰して「お帰り！待ってたよ」と職場の人たちに言われたらやはり嬉しいですね。

Q. 今後やっていきたいこと

仕事では若い動物看護師が多く入社してきているので、職場の環境を整理し、仕事にもっとやりがいを感じられるような体制にしていきたいです。

具体的な構想としては、内科や外科や救急診療科など複数ある診療科にローテーションで配属し、専門性の高い仕事に携わりながら知識と技術を身に付け、症例に深く関わることで、個々の症例に対してどのように看護するのかを深く考えることが出来れば、もっと仕事が楽しく感じられると考えています。

また、RECOVERという世界基準の心肺蘇生法の講座を学び、ライセンスを取得しました。救急診療科もありますので、シビアな症例が多く実際エマージェンシーにかなりの確率で遭遇します。RECOVERを学んだことで、やるべきこと、見るべき数値が理解でき、周りのスタッフと一頭でも多く救えるように日々取り組んでいます。

後は、先ほどお伝えしたママさん動物看護師達とずっとこの仕事を続けていくためにはどうしたらいいかということを引き続き話していきたいですし、外に向けて発信もしていきたいと思っています。そして、今年2月の内科学アカデミーで症例発表を初めて行いました。グラフの作成の仕方、などゼロからのスタートで、職場の獣医師に教えてもらいながら（提出した抄録の一次原稿は真っ赤に書き直され、予演会ではボコボコにされましたが（笑））、やり終えた後にとても達成感があったのでまた挑戦してみたいです。

プライベートでは韓国アイドルが好きなので、おもいっきり追っかけをしたいですね（笑）。病院内でフットサルチームを作って大会優勝できるように頑張ってます！

